

## お嬢吉三 (1959)

メディア 映画  
ジャンル 時代劇  
製作国 日本  
色彩 Color  
時間 81分  
初公開日 1959/04/21

### 【解説】

「鳴門秘帖」の犬塚稔の脚本を「化け猫御用だ」で監督デビューしたばかりの田中徳三がメガホンをとった。河竹黙阿彌の歌舞伎作品『三人吉三廓初買』を元にしていて、その内容を自由に翻案し脚色。前年の「弁天小僧」同様、市川雷蔵の女装姿を見ることができる。

一年ぶりに牢を出たお嬢吉三、和尚吉三、お坊吉三の三人は、自分たちを牢屋送りにした悪旗本と悪貸元にお礼参りをした。江戸を出た三人は東海道を進み、小田原宿で女衞の辰から生娘を世話される。しかしそれは借金のカタに辰に取られた娘であり、倉松という男が迎えに来ていた。女装したお嬢は金貸し鬼伝のところへ向かい、娘の証文を騙し取ることに成功するが、そこで彼女が自分の幼なじみのお美和であることを知る。

### 【クレジット】

監督 田中徳三  
製作 三浦信夫  
企画 浅井昭三郎  
脚本 犬塚稔  
撮影 今井ひろし  
美術 西岡善信  
音楽 斎藤一郎  
出演 市川雷蔵  
島田竜三  
北原義郎  
林成年  
浦路洋子  
中村玉緒  
毛利郁子  
清水元